

## ベトナム・孤児院&日本語ボランティア グループプログラム

出発日 7月24日から毎週火曜日(最終9月11日出発)  
1週間または、2週間



### ベトナムに来たら、メコンデルタへ♪♪

日帰りで行けるミトーへはホーチミン市内からバスで揺られること約2時間。到着したら大きめの船で中州にある4つの島の内のひとつへ向かいます。島はホーチミンとは違い、まさに田舎という感じの村。生活感が溢れています。そこで小船に乗り換えてジャングルの中をゆっくりと進んでいきます。

### ● ベトナムはどんなところ？

その昔「シャムの国」と呼ばれ、13世紀中ごろに君主国として独立してから今にいたるまでの約800年というもの、東南アジアにおいては珍しく他国から支配されたことがなく、華麗な独自文化が連綿と息づいてきた歴史ある王国、タイ。荘厳な寺院に優雅な古典舞踏、美しく繊細な工芸品などに垣間見える伝統の数々は、見る人を惹きつけてやみません。



### 日本語が・・・

左の写真をみてください。「さわトソコッやか」と呪文のように、日本語で書かれたソックスです。なんのオマジナイなんだろう。もちろん、すぐに解決、そうか、「さわやかコットン」と言いたいのか！  
そういえば、20年くらい前までは、日本でも良くわからない英語がロゴや広告に良く使われていました。同じような状況がいまベトナムで起こっているのか。でも、あきらかにおかしいでしょ。  
だから、少しでも日本人として、日本語を勉強している人たちのヘルプをしてあげましょう。

### ● グループで活動するメリット

参加費用が個人プログラムよりも安くなります。グループ参加ならではの、特別企画、たとえば日本語学校の学生のみなさんたちと一緒に料理パーティなどを行います。このプログラムに参加される方々は皆さん前向きな方が多く、帰国後も良い友人としてお付き合いができるような、新しい出会いがあるのもグループプログラムのよさでしょう。

### ● ボランティア活動

障害児童の孤児院と日本語学校でのボランティアを同時体験するプログラムです。

### ● 滞在は日本語学校近くのホテルでの滞在

このプログラムに参加する方々はホテルに滞在します。費用には13泊分の代金が含まれて居ます。一部屋を2名でシェアします。日本語学校から徒歩5分の場所にあり、近くには沢山安価なレストランなどもあり、食事に困ることはありません。

● ベトナムの孤児院で感じたこと・・・(参加者ノートからの抜粋)

言葉は通じないですが、気持ちは 伝わります。近づき抱き合ったり写真を撮ったり 顔を見合わせ笑ったり 現場でないとできないすばらしく 楽しい時間を 過ごせます。初日は やはり初体験の為 かなり驚きを感じます。でも 2 日目 3 日目になると皆が覚えてくれて 体は健康だが 知能が少々送れている子ですが、走ってきて抱き合ってくれました。動けなくても近づくとうなずいて喜んでくれました。 最高に幸せを感じました。

・ 健康だけど知的障害の子は 覚えてくれ走って来て抱きついてきてくれます。  
従って 時間があれば ずっと遊びたいです。一緒に折り紙をしたり 廊下でちょっとふざけたり、私たちは だいたい 1 時間半ほど孤児院に滞在し各部屋を回っていました。



孤児院の子供はその80%が障害をもっています。アメリカとの戦争の後遺症だと説明されました・・・



コーディネーターの家でパーティ

空港に迎えにきてくれた現地スタッフ

すごいバイクの数

右上の写真： ホーチミン市内は車よりもバイクの方が断然多いです。  
すごい数のバイクが目の前をガンガン走り去って行きます。道路を横断する際は気をつけましょう。

● ベトナム、ホーチミンにて・・・(参加者ノートからの抜粋)

雑貨の買い物は本当に楽しいです。  
食器、洋服、小物、とにかく時間がいくらあっても足りず、女性の買い物欲のツボを押さえたお店のチョイスだと思います。  
ローカルの人が行くフォーのお店も美味しいし、観光客向けのレストランやホテルの中のブッフェ(シェラトン)も美味しいし、何よりスイーツが私が今まで旅行した海外の中で3本指に入るくらい美味しかった！  
旅行に行く前は、ホーチミンに関して賛否両論の意見を聞いていましたが、買い物と食べる事が好きな私にはかなり満足の街でした。

グルメは！人気の Quan An Ngon!  
Quan=食べる An=店 Ngon=おいしい 名前の通りおいしいものがなんでも食べれる！すばらしい、おしゃれなベトナム料理のお店。北から南まで縦になが〜いベトナムだから、食もそれぞれ。クアンアンゴンならベトナムの北から南までのおいしいものがなんでも、かんでも揃ってます！フォーから、生春巻き、パインセオ、から、ホイアン名物カオラウ、ダナン名物ミークアン、バーバーバー(333)ビールから、ベトナムコーヒー チェーまで。  
かみなぎってます。癒されてます。3キロ太っても許せます・・・。

● ベトナム・グループプログラム・スケジュール

DATE	午前	午後・夕刻
1	関西空港、成田空港から弊社指定の便で出発。ベトナム国際空港到着後、コーディネーターが空港でお出迎えし一路滞在先のホテルへ移動します。	
2	孤児院と日本語学校でのボランティア活動。具体的な内容はどんなことをすれば子供たちにとって良いか、また持続可能なサポートはどういったことができるかを考えながら活動ください。個人ではなく、複数で参加していただきますので、一人ではできないことができるはず。コーディネーターと話しをしながら、自由時間やオプショナルのツアーなどを組み立てていきます。	
12	1週間のプログラムの方は深夜便でホーチミンを出発し翌日帰国します。	
14		深夜便で帰途へ
15	帰国予定 ※フライトの加減で14日目に帰着する場合があります。	

ベトナムの言葉をすこし勉強しましょう。コーディネーターのオフィスで初日オリエンテーションの際にベトナム語の勉強もします。また、日本語学校の生徒さんたち（みなさん学生や社会人）が、良いサポートをしてくれます。この2週間に沢山のベトナム語を覚え、できれば帰国後も続けていけるような、そんなきっかけになればよいと思います。



活動するときには名札を用意してみたら？

以前タイのプログラムに参加されたかたからのアドバイス。

「自分の名前を先生に聞いて、名札にしておきましょう。子供たちがそれを見て、すぐに名前を覚えてくれますよ。」

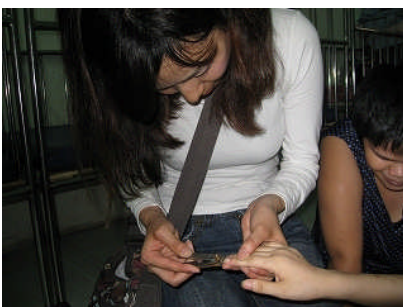
これは、タイだけではなく、すべての国で使えるとおもいます。



スーパーマーケット BIG C

「HOA PHUONG DO」は部屋に飲み物がなかったので、着いて荷物を置いた後、すぐにホテルからタクシーで5分ほどの所にある「Big C」というスーパーに行き、飲み物を調達しました。500mlのミネラルウォーターが3,300d(16円)でした。Sangさんに聞いたら「La Vie」という名前のお水がおいしいとの事でしたのでそれを買いました。パンも安くおいしいです。5,500d(27円)～8,500d(42円)くらい。あと私のおススメは惣菜コーナーに売っているグラム売りの焼そば一人前が約8,100d(40円)で美味しかったです。

このBig Cは安く便利なのでよく行きました。お土産を買うのもいいと思います。



子供のつめを切ってあげたり、一緒に遊ぶ。子供たちに楽しい時間を提供するのがボランティアです。

## 募集要項

出発日 7月24日から毎週火曜日(最終9月11日出発)

1週間または、2週間

プログラム参加費用	最小催行人数は2名です。(定員6名様) 募集人数に達した時点で募集を打ち切ります。
1週間 70,000円	
2週間 90,000円	

### <プログラム費用に含まれるもの>

現地到着時の、ベトナム国際空港からホテルまでの送迎

帰国時のホテルから空港までの送迎

ホテル滞在費用(2名1室)

滞在期間中の現地でのサポートに関して

ホテルから現地のコーディネーターのオフィスまで徒歩5分、日本語での会話となります。

### <プログラム費用に含まれないもの>

ベトナムまでの往復航空券(CECが手配する事も可能です)

海外旅行保険加入費用

観光地費用などの個人的費用

### <お申込方法>

参加申込フォーム(CECのWEBから入ってください)から必要事項を入力いただき送信ください。申込金の20,000円はフォームの送信後3日以内にCECの口座までお振り込みください。申し込みフォームと申込金の到着を以って成立とさせていただきます。

申込の際の留意事項

- パスポートの残存期間が6ヶ月+2週間以上あることをお確かめ下さい。無い場合は更新ください。
- 未成年者の方は、保護者の直筆署名をいただきますので、WEB上のフォームは利用できません。申込書をお送りしますので、ご記入ください。
- WEB上でプログラム参加条件をお確かめいただき、お申込みください。

お問合せは下記までお気軽にご連絡ください。

CEC ジャパンネットワーク



CEC Japan Network

532-03 大阪市淀川区宮原 1-16-2-604

Tel 06-6397-7030 e-mail [info@cecj.net](mailto:info@cecj.net)

## 参加者感想文

参加期間 2012年 3 月 30 日 ~ 4 月 6 日

参加されたプログラム名 日本語プログラム&孤児院活動

参加の動機 海外ボランティア活動に関心があり、日本語を教えてみたいと思っていたことと孤児院には障害児施設併設と書かれており、現在障害児教育を専攻しているためどのような環境なのかを感じてみたかったから。そしてベトナムにはぜひ行ってみたいと思っていたから。

### 【印象に残ったこと・感動したこと】

日本語学校の生徒さんたちは本当に真面目で、わからないことはすぐに質問してメモを取ったり、日本についてとても興味を持って学んでいました。しかし、生徒さんたちが真面目に勉強に取り組んでいて質問もたくさんしてくれる中、「私は言います」と「私が言います」など助詞の細かな違いや「模様」と「柄」の違いなどなかなかうまく説明することができないものも多く申し訳なかったなあと思います。日本語学校で日本語を教えている間は自分が先生でしたが、学校を出て一緒にご飯を食べに行ったり街を歩くと学生さんが先生となってベトナムの美味しいものを紹介してくれたり、ベトナム語を教えてくれたことがとても印象に残っています！孤児院にはクレヨン、小さな画用紙、折り紙を持って行ったのですが、どちらも大人気でした。しかし取り合いになってしまったこともあったので心配したのですが、私が描いた絵や折り紙の作品を見て嬉しそうにしてくれることに感動する日々でした。孤児院には毎日三日間通ったのですが、私の顔を覚えてくれてボランティアに来ている他国の方や子どもたちとたくさん関わることができ、本当に心に残る思い出となりました。

### 【大変だったこと】

私が参加するまでは多くの日本人ボランティアの方がいたそうなのですが、私が行った時には1人の時間が多く、移動やツアーも1人だったので不安で少し心細かったです。しかし二日ほどしたらすっかり現地に慣れてバス移動や市場でぶらぶらすること、レストランで注文をすることなども何も不安に感じず楽しめるようになったので大丈夫でし

た！何か困ったことがあったらコーディネーターのアンさんにすぐ連絡したり、指さし会話帳で現地の方に質問したので安心でした。

### 【楽しかったこと】

楽しかったことはたくさんあるのですが、一番心に残っているのは滞在最後の夜に1人でぶらぶらしていたら偶然日本語学校の生徒さんとすれ違ってそのままベトナムのおいしいご飯とチャーという名物の飲み物を堪能できたことです！ご飯を食べながら折り紙でTシャツを折る方法を伝授したり、私が大学で学んでいる障害児教育について説明すると「素晴らしいことを学んでいるね。いい先生になって、またベトナムに来てください。」と言われて感動しました。

また、滞在先のホテル近くに日本でもおなじみのコンビニがあり、そこで買ったお菓子を部屋に持ち帰ってディスプレイチャンネルを見ながら夜に食べるというのも一つの楽しみでした♪

### 【持ち物について】 持って行って良かった物、or 持っていけば良かった物など

・持って行って良かったもの：折り紙、クレヨンと画用紙、日本のお菓子

・持って行けば良かったもの：サンダル、帽子

### 【現地での服装について】 普段の服装や、活動先での服装のアドバイスなど

とても暑かったので普段は半そでTシャツと短いズボン、ジーパンで過ごしていました。孤児院に行く際には動きやすい服装がいいと思います。

### 【現地の物価】 食品・日用品・外食・交通費etc・旅行に行かれた方はその費用など

バス代4000ドン(20円くらい)、ペットボトル1本3000ドン(15円くらい)、カップラーメン1つ9000ドン(45円くらい)、ツアー2日間で800000ドン(4000円くらい)でした。

1万5000円両替しましたが、朝昼晩しっかり食べて、ツアーに参加して、ベントイン市場でたくさん買い物をしてもお金が余るくらいでした。お昼は市場でフォーと生春巻きを一緒に食べて日本円で500円くらいでした。

## 【コミュニケーション手段(言葉の問題など)について】

街で出会った人やツアーで出会った人などは指さし会話帳で会話をしました。すごく便利でした！ツアーや孤児院のボランティアの方に「日本語も教えてよ！」と言われることもあり、会話帳を使いながら日本語を教えることもありました。

日本語学校では主に日本語、お店では主に英語を使用していました。英語は日常会話程度しか使っていないので、ぺらぺらじゃなくても大丈夫でした！よかったです。。ただバスの中ではベトナム語しか通じず、街の中で突然ベトナム語で話しかけられることもあり戸惑うこともありました。

## 【ステイ先の情報・感想】 ホテル or ホームステイ

滞在はホテルでした。ホテルのお部屋はとてもきれいでした！白いベッド、毎日取り換えられる枕とタオル、トイレも毎日掃除されてきれいでした。テレビはいくつもチャンネルがあり、私はディズニーチャンネルと日本のアニメが放送されているチャンネルを夜によく見ていました。フロントの方はベトナム語で話されるのでトイレトペーパーをもらいにいったりチェックアウトの時は指さし会話帳を使っていました。にこやかに対応してくださって安心しました。

## 【派遣(ボランティア)先について】 どこでどんな活動をしましたか

日本語学校と孤児院でボランティアをさせていただきました。日本語学校では15時頃からのクラスと17時頃からのクラスがあり、それぞれ学生さんたちも異なっていました。授業内容は学生さんたちが解いた日本語の問題集の丸つけと解説が主でした。解説では、どのようにしたらわかりやすく伝わるのかとても悩みました。「ここ」と「こちら」、「そこ」と「あちら」の違いなど細かい説明は日本人の私でも難しい部分があり、もっと勉強しなくては・・・と思いました。しかし説明がうまく出来ない私に学生さんたちは「大丈夫です！」と優しく接してくれて感動していました。

孤児院では、朝8時半頃バイクタクシーで送ってもらい9時頃に着くようにしてもらっていました。朝孤児院に行くと子どもたちが遊んでいたり、ひなたぼっこをしていたり、自由な雰囲気でした。1人でじっとしている子にあいさつをしたらとても可愛い笑顔を返してくれて、仲良くなれた子もいました。小さい子から高校生くらいの年の子までいるようでしたが、小さい子に折り紙をあげると喜んでくれました。お昼が近くなると子どもたちはお昼ご飯を食べ始める

ので、邪魔にならないようにこっそりと孤児院を出ていくようにしていました。日本語学校でも孤児院でも忘れられない思い出ができました。

【やってみたかった事・やり残した事】

行きたいところにも行き、やりたいこともやったのですが強いて言えば戦争証跡博物館を見学しておけばよかったなあと思いました。

【その他、自由にご記入ください】 写真大歓迎！！



日本語学校の生徒さん！！明るくて優しく楽しかったです。(私は真ん中です)



孤児院の子どもたちと撮りました。

かわいすぎました。



日本語学校の生徒さんと最後の夜ご飯でした。



市場のお昼ご飯の例(これで500円くらい)美味！



船にのりました。(メコン川ツアー)

ツアー2日間(メコン川、クチトンネル)、ボランティア4日間の旅でしたが、本当にたくさんの思い出をお土産にすることができました。ありがとうございました！！！！

女性 20歳代

ご協力ありがとうございます。今後のプログラムに役立てさせていただきます。